

なますて



※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。

「ありがとう！」という言葉で、人生をしめくりたいものです。
「ありがとう！」のひと言は、残される者の心を救う何よりの遺産です。

これは聖路加国際病院の理事長である日野原重明先生の言葉です。
先生は、百歳を越えてなおお元気に活躍しておられることは皆さんもご存知のことと思います。

以前にも「ラストワード」ということを書いたと思います。自分がこの世を旅立つ時、家族や友達に何と言って死にたいか？どんな言葉を残して旅立ちたいか？ということ、日頃から考えてみよう。それが一遍上人の言う

「平生即臨終 臨終即平生」

すなわち日々「死」を意識して、今を大切に生きる生き方に繋がるのではないか…というものです。

でも、最後にありがとう！と感謝して逝くためには、日頃から感謝して生活することが必要だと思います。いつも愚痴ばかり言っていると、最後まで不平不満を言って終わってしまいます。日頃の「あたりまえ」にこそ、「ありがとう！」と素直に感謝する気持ちを心掛けたいものです。

合 掌

参考までに…

- ・「あたりまえ」を「ありがとう」と言うのが『感謝』
- ・「だからなに？」を「おめでとう」と言うのが『賞賛』
- ・「もうだめだ」を「これからだ」と言うのが『希望』
- ・「なりたいな」を「なってやる」と言うのが『決意』
- ・「もういいや」を「まだ待とう」と言うのが『忍耐』
- ・「もう疲れた」を「もう少し頑張ろう」と言うのが『努力』



光林寺寄席特別会

今回は、第1回の出演者であり光林寺寄席の生みの親とも言える永六輔さんをお招きし開催致しました。本来は第50回の記念回にご出演いただき案もありましたが、調整がつかず一度は断念致しました。

しかし、永さんのご希望も有り、また51回目という新たなスタートを切る意味で開催する運びとなりました。

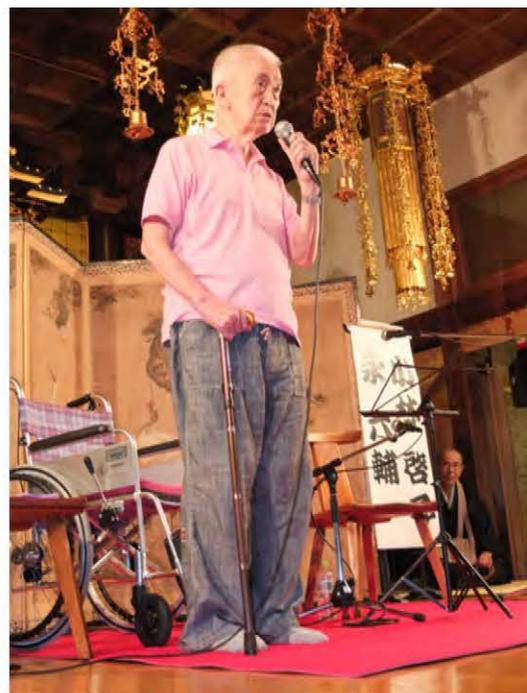
当日9月16日は台風18号が日本を縦断し、日本各地に被害をもたらしました。最悪、イベント中止の可能性もありましたが台風が幾分逸れ、何とか開催することが出来ました。

その様な荒天でしたので来場者も少ないのではと覚悟しましたが蓋を開けてみれば、なんと250名を超える方にご来場いただきました。永さんは、最近露出を控えめになさってはいますが、盤石の人気ぶりに感心した次第です。壇上でも年齢を全く感じさせず、時にはなかなか際どいトークを炸裂させながら聴衆の心をガッチリキャッチ。

テレビ創世時代の裏話などは50歳以上の方にはたまらない話題だったようです。

さらに今回はスペシャルゲストとして歌手の小林啓子さんが出演下さいました。小林さんは1960～70年代を代表するフォーク歌手で今回の聴衆にとっては、青春時代を思い出した方も多いのではないでしょうか。

永さんの軽妙なトーク、小林さんの素晴らしい歌声が本堂に響き渡り、いつもとは一味も二味も違った光林寺寄席となりました。



↑永六輔氏、御歳80歳 お元気です



↑永六輔さんと小林啓子さん



↑超満員の聴衆の前で軽快トーク

第52回光林寺寄席 予告 平成26年6月頃

柳家喜多八・三遊亭歌武蔵・柳家喬太郎 三人会

詳細は決まり次第ホームページでお知らせ致します。

hanamaki-kourinji.jp/

庫裡増改築及境内整備工事経過報告

平成25年3月に着工致しました庫裡等改築及境内整備工事は現在(12/4)、信徒用室内のトイレ(6月中旬完成)と檀信徒用台所(7月中旬完成・現在寺族使用中)・庫裡屋根裏防火隔壁工事、屋外トイレ(使用はまだ出来ません)が完成しました。

寺族庫裡については史蹟発掘調査の実施や天候不順の為、2ヶ月以上工期が遅れております。現在、基礎工事まで終了し、今後家屋の建築が始まる予定です。上人用トイレ・物置改築工事については八割方進行しております。また、舗装工事は今年中に終了予定です。最終的な工事終了は3月中を予定しております。

尚、平成26年春季開山忌にて落慶式を予定しております。ご心配をお掛けしておりますがご協力、ご理解の程、よろしくお願い致します。



↑ 地鎮祭(10/7)



↑ 埋蔵文化財調査



↑ 屋外トイレ 外観



↑ 工事全景(12/4)

春季開山忌並庫裡落慶法要

庫裡の落慶法要を春季開山忌に合わせて執り行います。時間等の詳細は後日お知らせ致します。ご家族、ご親戚お誘い合わせの上、お参り下さい。

平成26年4月23日(水)

※春季開山忌の塔前(当番)地区は

松林寺・富沢・大興寺・大畑・二枚橋・糠塚 の各地区です。

ご協力の程、よろしくお願い致します。

平成25年 仏具奉納者

本年は以下の方々にご寄付をいただきました。ご紹介申し上げます。

○四天王立像(位牌堂)・・・各 壱百万円相当

持国天(東) 花巻市 葛 照井 晴雄 殿

増長天(南) 花巻市 松園町 高橋 憲一 殿

広目天(西) 石鳥谷 百目木 似内 貞雄 殿

多聞天(北) 盛岡市(八幡) 高橋 徳一 殿
(毘沙門天)

※四天王とは？

もとは古代インドの時代から信仰されてきた神々で、後に仏教に帰依し仏法を外敵から守る守護神となりました。須弥山(神々の山)に住み四方に睨みを効かせておられます。各々が金剛(ダイヤモンド)の鎧を纏い、剣や棒などの武器を持ち餓鬼や羅刹を従えた姿で表現されます。

誠にありがとうございました。衷心より御礼申し上げます。

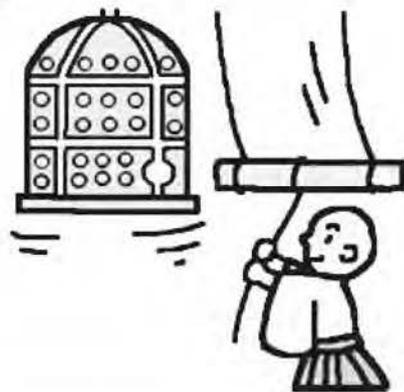


除夜の鐘 & 元朝参り

光林寺では大晦日の23:55頃から0:30頃までにお参りいただいた皆様に除夜の鐘をついていただいています。例年、大変冷え込みますので、暖かくしてお参り下さい。なお、鐘突き参加の方には温かい飲み物を用意しております。どうぞ、ご参加下さい。

また、ご希望の方には御札(阿弥陀如来・熊野権現)を正面玄関にてお授けしております。(志納 ¥2~3,000)

新年はまず、菩提寺と御先祖様にお参り下さい。



編集後記

台風や竜巻、大雨など様々な災害に見舞われた日本列島。日頃から防災意識を持つ大事さを痛感させられます。同時に私は素晴らしい土地に暮らしているのだと感謝せずにはいられません。

そんな台風の中行われた第51回光林寺寄席。本番も素晴らしかったのですが実はリハーサルが興味深いものでした。リハーサルが始まった途端、永六輔さんの眼光がどんどん鋭くなっていき、次から次へと指示が飛びます。構成、演出、音響、照明、すべてに目を光らせます。

正直言って圧倒されました(A^:)。プロの仕事を垣間見られた気がしました。